

軍の食糧事情と昔取った杵柄のこと

匿名希望（父母から聞いた話）

私は昭和 27 年生まれの 73 歳です。Sora かさいの事は、先日放送された読売 TV の番組を見て知りました。私の父親（既に他界）は昭和 20 年 5 月に陸軍に徴兵で入隊、伊勢の沿岸部で駐屯していたそうです。父親の戦争の話といえば、毎日塹壕（ざんごう）掘りばかりしていた事。あとは、和船を手漕ぎで少し沖まで漕いでいって、点火した「ダイナマイト」を海に投げ入れて、魚を取った事。そんな話ばかりでした。

私の父親は、京都市内の中京区育ちで「海」や「船」とは全く縁の無い人間なのに、和船を「櫓」で漕ぐのが、かなり上手かった。昭和 30 年代、一家で海水浴によく行きましたが、家族を乗せてよく漕いでいました。不器用な父親でしたが、唯一の自慢でしたねえ。勿論、軍隊で身につけた技に違いありません。

そういう話を聞いた当初は、別に何も思いませんでしたが、今考えてみると、駐屯していた兵隊が自ら「魚」とかの食料を確保しなければならない程、日本は逼迫していたわけで、その様な状況下で戦争を続け、尊い命が多く失われたことが悔やまれてなりません。